

令和6年度

# 熊本県小学校教育研究会国語部会

## 研究理論提案

令和6年5月11日（土）

今を生きる子どもたちが成人して社会で活躍する頃...



# 社会構造の変化によって直面する課題

『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』

中央教育審議会

目の前の解決すべき課題を見いだし、

主体的に考え、

多様な立場の者が協働的に議論し、

納得解を生み出すこと

正に新学習指導要領で育成を目指す

**資質・能力**が一層強く求められている

# 次代を切り拓く子どもたちに求められる 資質・能力

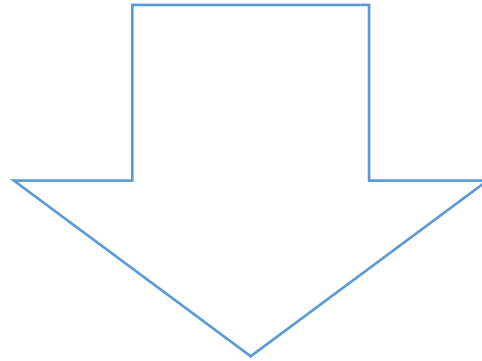
- 文章の意味を正確に理解する読解力
- 教科固有の見方・考え方を働かせて  
自分の頭で考えて表現する力
- 対話や協働を通じて知識やアイデアを共有  
し新しい解や納得解を生み出す力

# 1 これからの社会に求められる力 これらの資質・能力を育む手立て

○個別最適な学び

○協働的な学び

充実を図る



見方・考え方を  
働かせる

主体的・対話的で深い学びの実現

## 2 求められる国語科の力

「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」

学びに向かう力  
人間性等

言葉による見方・考え方

知識及び技能

思考力・表現力・判断力等

# 「言葉による見方・考え方」を働かせる授業

## 国語科における学び

- 言葉の意味を吟味し、解釈を広げ・深める
- 言葉を活用する力を高める
- 新たな語彙の獲得
- 言葉の意味を捉えなおす

子供が既有知識・経験を交流しながらを学習に生かす



子供が学びを自覚し、問いをもちながら主体的に学ぶ



「言葉による見方・考え方」が働き、  
個々が有する「見方・考え方」が更新される

生きて働く言葉の力 未来を生きる子どもに必要な力

未来を拓く言葉の力を培う

国語科学習の創造

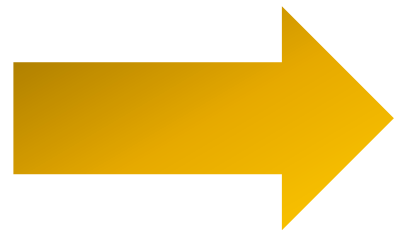
～学びを自覚し、共に更新し続ける子供の育成～



### 3 研究の視点

視点1 【学びを自覚するための手立て】

視点2 【共に更新するための工夫】



言葉による見方・考え方が働く  
主体的・対話的で深い学び

## 視点 1 【学びを自覚するための手立て】

- (1) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」
- (2) 単元を通じて  
自己の変容を自覚する『振り返り』

# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」



学びの始めから、これまでの学びとつながらず…

# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」

新しい  
単元



本単元に必要な  
語彙などの既有的知識

学びの土台

既習単元における  
指導事項

# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」



ごんや大造じいさんって、あなたたちから見てどんな人物でしたか。

既習の教材を活用して問いかける



絵本の読み聞かせ



学習の記録の振り返り

## 視点1 【学びを自覚するための手立て】

### (1) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」

学ぶ価値や見通しをもつための学びの指針

## 学習課題

「言葉の力」：本単元における指導事項を単元に  
合わせて焦点化したもの

「言語活動」：学習課題を達成するための言語活動

# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」

### 学習課題

「町の幸福論」の視点を活かし、資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫して、秋津の幸福な未来について町に提言しよう

### 本単元で身につけさせたい言葉の力

資料を活用する意図を明確にして、自分の考えが伝わるように表現をくふうする力

本単元における  
指導事項を単元  
に合わせて焦点  
化したもの

### 言語活動

秋津の幸福な未来について考え、町づくりセンター職員の方に提言する。

6年 国語 東京書籍

「町の幸福論」

コミュニティデザインを考える

学習課題を達成す  
るための言語活動

# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」

### 学習課題

(言語活動＋指導事項)

学びの全体を価値づけ、次に生かす

学習課題  
達成





# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

納得解  
最適解



言葉



問い  
?



学びの自覚

振り返り

# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫  
学習課題の達成を見据えて、  
今の自分の学びの

学びの自覚  
振り返り



言葉

学んだ後の自分

資料を効果的に使って食品ロスを減らすプレゼンをするためには、〇〇〇のところをもっと工夫する必要があるかも。

言葉

学びの土台



# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫  
仲間と対話した過程

学びの自覚  
振り返り



習課題

〇〇さんの考えから、私は  
△△ということに気づい  
た。



学びの土台



言葉

学んだ後の自分



# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫  
課題の解決方法

学びの自覚  
振り返り



人物同士の関係を図でまとめると〇〇ということが分かった。



学びの土台



言葉

学んだ後の自分



# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫  
更に考えたい・新たな問い

学びの自覚  
振り返り



〇〇についてもっと考えたい。  
△△についても気になったので、次の時間に友達と考えたい。



学びの土台



言葉

学んだ後の自分



# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫

単元冒頭の自分と学習後の自分の変容

### 学びの自覚 振り返り

#### 学習課題

(言語活動+指導事項)

学ぶ前の自分

言葉



学びの土台

最初、自分は〇〇〇と考えていたけれど、学習課題を達成した今は～～と考えるようになった。

対話



言葉

学んだ後の自分



# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

## ア) 振り返る視点の焦点化の工夫

**学習課題** 表現の工夫に着目して  
物語を読み深め、6-1オリジナル朗読会を開く

さなぎたちの  
教室



# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

### 返る視点の焦点化の工夫

深まりまりました。「高月さんに、もう追いつけないような気がした」の表現の工夫の意味が分からなかったので、また考えてみたいです。

さなぎたちの教室や「目の中を、いっぱい  
のちようが飛んでいた」という最初、疑問  
に思っていたことを調べてみて、物語の内  
容や意図がさらに理解できたような気がし  
ました。自分が分かったけど、友達は分か  
らなかったことを教えたり、自分の意見と  
友達の意見を見比べて、自分の意見とは違  
うことを書いたりして、自分の考えが  
深まりまりました。「高月さんに、もう追  
いつけないような気がした」の表現の工夫  
の意味が分からなかったので、また考えて

- わかったこと
- さらに学びたいこと



# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

### ア) 振り返る視点の焦点化の工夫

○友達  
の考え  
からの  
気づき

を共有したりして考えを深めることができました。自分は、「さ  
なぎたちの教室」の意味は、谷さんの心の変化をさなぎで表して  
いると考えていたけど、        ちゃんの考えを見ると、「子供か  
ら一歩大人になる準備をする6年生をさなぎに例えている」と考  
えていて、参考になりました。

# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

### ア) 振り返る視点の焦点化の工夫

（単元終末に）  
最初の考えと今の考えを比べてみて

挿絵

学習で活用したカード

①さなぎたちの教室  
②高月さんに、もう追いつけないような気がした。  
③目の中を、いっぱいちょうが飛んでいた。

「さなぎたちの教室」は、特に表現に工夫がたくさんある味を考えるのが難しかったけど、自分で考えたり、みんなを共有したりして考えを深めることができました。自分なごたちの教室の意味は、谷さんの心の変化をさなぎいいると考えると、さなぎの準備をする6年生をさなぎに例えていて、参考になりました。これからの物語の勉強でさなぎたちの教室のような工夫している表現がたくさんあると思うので、それに注目して朗読や音読をしていきたい

「さなぎたちの教室」の意味は、谷さんの心の変化をさなぎ

「さなぎたちの教室」は、特に表現に工夫がたくさんある味を考えるのが難しかったけど、自分で考えたり、みんなを共有したりして考えを深めることができました。自分なごたちの教室の意味は、谷さんの心の変化をさなぎいいると考えると、さなぎの準備をする6年生をさなぎに例えていて、参考になりました。これからの物語の勉強でさなぎたちの教室のような工夫している表現がたくさんあると思うので、それに注目して朗読や音読をしていきたい

振り返り

物語の大体  
表現の工

最初の感想・問い

さなぎたちの教室で？  
さなぎたちが何を勉強しているの？  
さなぎたちが何を勉強しているの？  
さなぎたちが何を勉強しているの？

学習の始まりと終わりの自分を比べてみよう  
自分に身についた力  
・次の学習や生活に生かせること、等

これからの物語の勉強で

低・中・高 発達段階に応じた工夫

# 視点Ⅰ【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

## イ) 振り返る時、場、共有の工夫



もうそろそろ、今日の授業は終わりです。じゃあ、振り返ろう！

授業の終末だけが振り返りの時や場ではない

# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

## イ) 振り返る時、場、共有の工夫

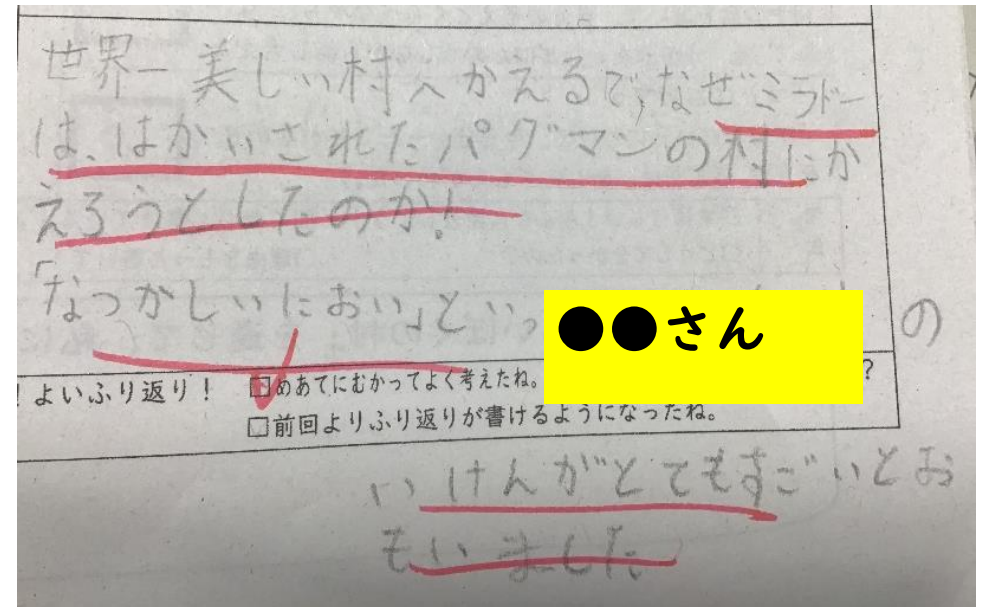
### 授業の冒頭・展開

昨日と今日の  
勉強がここで  
つながってるな！

自分の問い  
の解決に活  
かせる！



私のいいと  
ころを認め  
てくれてう  
れしい。



# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

## イ) 振り返る時、場、共有の工夫



### 学習課題

〇〇さんの振り返り、  
いつどの場面で共有し  
ようか…

◇◇さんの振り返り  
にある新たな問い  
は、クラスの大きな  
学びのきっかけにな  
るのでは…

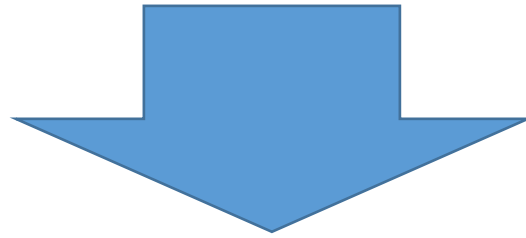
解決方法について、ど  
こで振り返ろうかな…

〇〇さんの振り返り  
あった疑問は、△△さ  
んの問いとつながるよ

単元や学習過程の柔軟な再構成

## 視点2 【共に更新するための工夫】

子どもが見方・考え方を働かせながら相互に作用することで、自らの見方・考え方を更新していく深い学びが生まれる

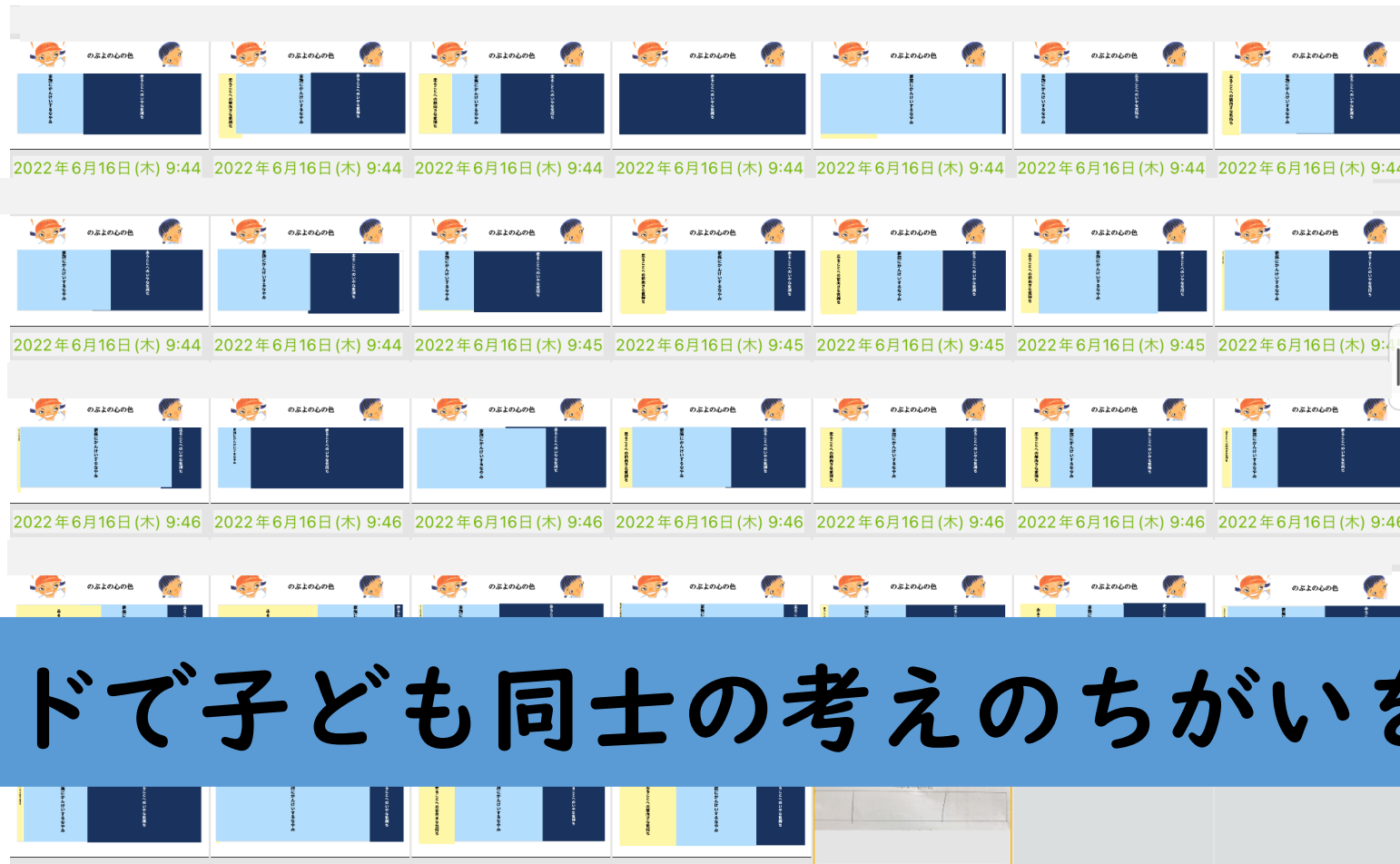


- (1) 考えを表出し、比較する場
- (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

# 視点2 【共に更新するための工夫】

## (1) 考えを表出し、比較する場

例えば・・・ 「走れ」 東京書籍 4年上

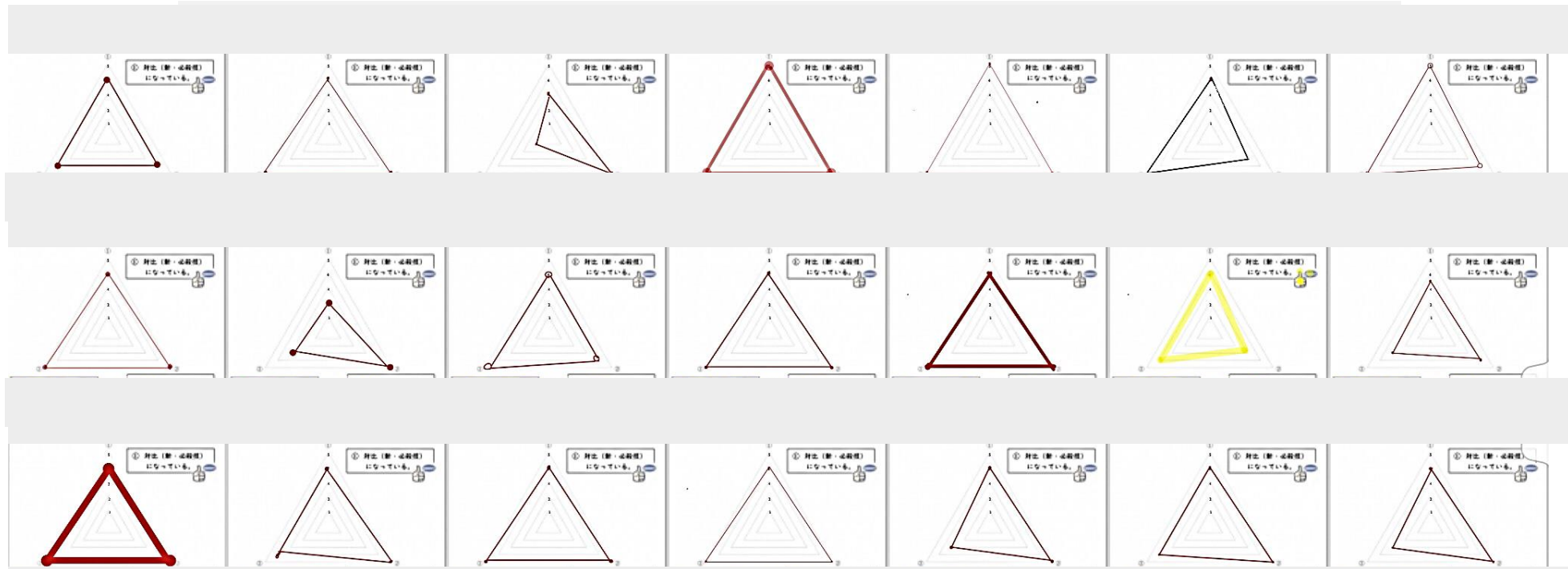


色カードで子ども同士の考えのちがいを可視化

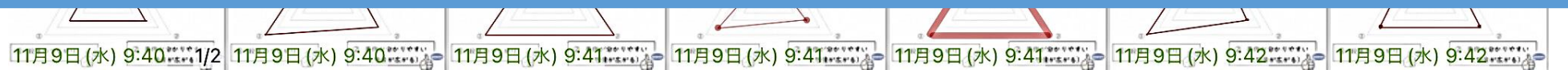
# 視点2 【共に更新するための工夫】

## (1) 考えを表出し、比較する場

例えば・・・ 「調べたことをほうこくしよう」 東京書籍 4年下



レーダーチャートで子ども同士の考えのちがいを可視化





## 視点2 【共に更新するための工夫】

### (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

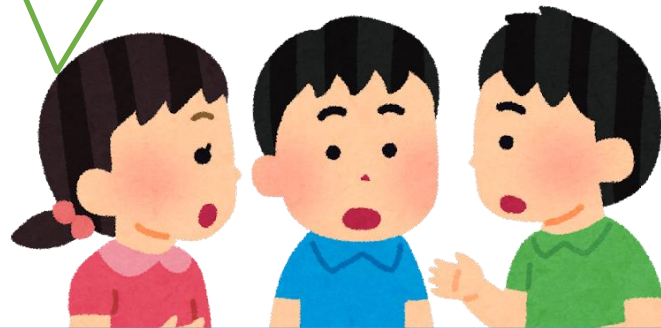


作成した

よう

うん、わかりやすくていいんじゃない？

ゆっくり、声を大きく発表した方がいいかなあ。



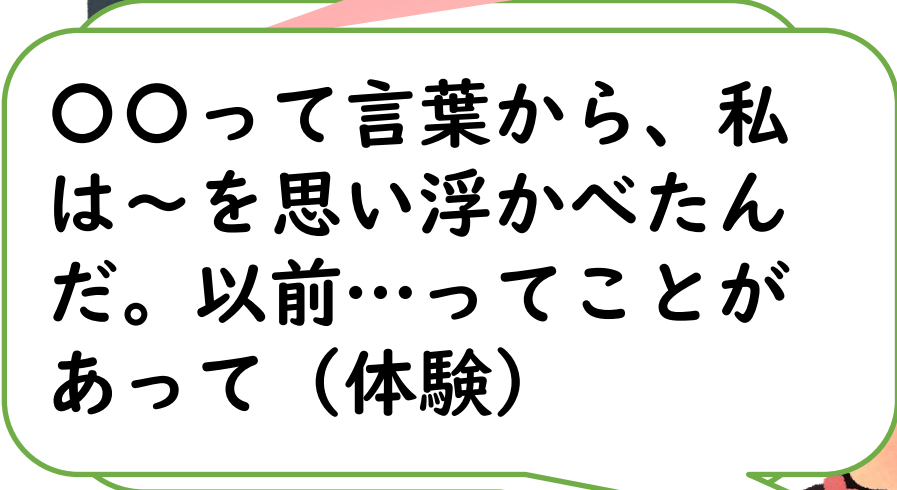
納得のいく資料や効果的な伝え方へと深っていく？

## 視点2 【共に更新するための工夫】

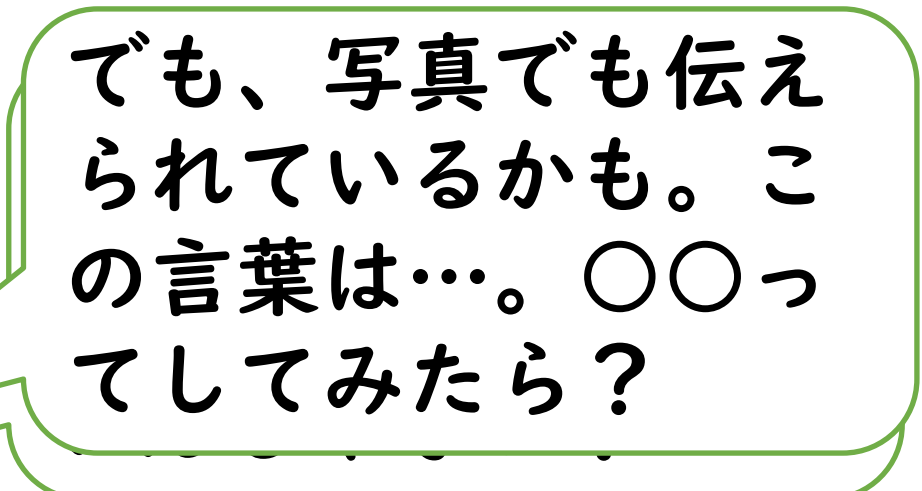
### (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実



その〇〇って言葉から  
何を想像したの？



〇〇って言葉から、私は～を思い浮かべたんだ。以前…ってことがあって（体験）



でも、写真でも伝えられているかも。この言葉は…。〇〇ってしてみたら？



根拠や理由づけを充実させることで、納得解が生まれる

## 視点1 【学びの自覚】

言葉による  
見方・考え方を  
働かせる

## 視点2 【共に更新】

他教科や生活の中で生かせる未来を拓く言葉の力を獲得し、

自らの生き方を  
主体的に更新し続ける子ども